

懇談会での意見を踏まえた大学像に関わる整理

前回懇談会に提示した主な論点

<大学の使命>

- 地域と世界の両方の視点を持った学びの場が必要である。
- 地域の課題は世界に通じるものであり、その解決のために、現状を把握し、分析し、地域の力を活用する能力を培う場であることが必要である。
- 学問のための学問だけではなく、どのような社会が望ましいのかという視点からの実践的な学びの場であることが必要である。

<人材育成>

- 豊かな感性と創造力を培うことが必要である。
- 創造力を生かして、まちづくりや社会の課題などを解決していくための多様な力を培うことが必要である。
- 変化が激しい社会の中でもイノベーションを絶え間なく創造できる人材を育てる必要がある。

<社会貢献>

- 自然環境や産業基盤など地域特性を踏まえ、活用していくことが必要である。
- 大学の様々な活動を通じて、新たな社会的価値を創造していくという視点が必要である。

前回懇談会での意見を踏まえた整理

<旭川市における公立大学の使命・役割>

- グローバル社会が更に進む情勢の中、地域と世界の両方の視点を兼ね備えた学びの場を提供すること。
- 地域にある様々なフィールドを生かし、広く社会に適応していくためのより実践的な学びの場を提供すること。
- 社会情勢の変化を踏まえた新たな事実や課題を発見し、理論の構築や実証などの先端の研究を行い、新たな社会的価値を創造すること。
- 地域における知の中核拠点として、自然環境や産業基盤などを含む地域特性や資源を活用し、これらをテーマにした研究成果を地域における様々な活動へフィードバックすること。

<人材育成像>

- 社会情勢の変化に対応していくため、豊かな感性と柔軟な創造力を培う。
- 学問分野の垣根を越えた幅広い学びを通じて、多様な視点からものごとを洞察し、課題を発見する力を培う。
- まちづくりや社会の課題などを解決していくため、他と連携しながら、感性と創造力を生かして分析し、試行錯誤を経て、解決策を見出す力を培う。
- 新たに見出した考え方や取組を外に向けて発信し、拡げていく力を培う。

